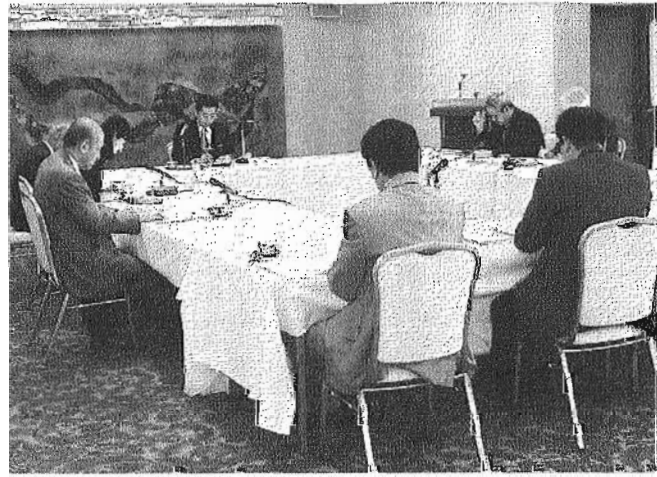


鹿児島県の道を考える懇談会

道路整備の方向性検討
年内に中長期計画策定

鹿児島県の道を考える懇談会の設立及び第1回懇談会は13日、鹿児島市のステーションホテルニューカゴシマで開かれた。今後の鹿児島県の道路整備のあり方については、基本的な方向性と事業の

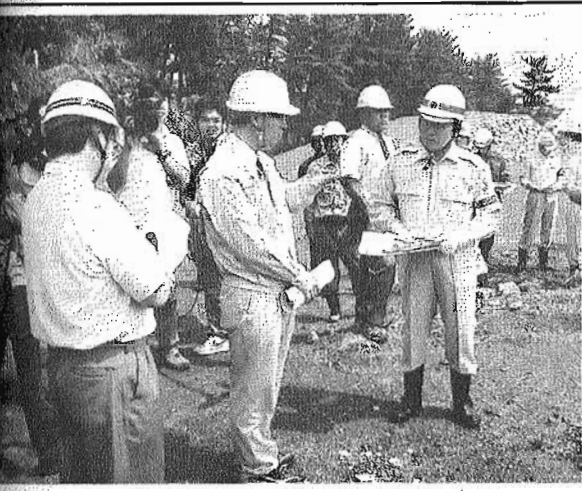
成果を表現する手法の検討を進める必要があり、多方面から多面的な視点での意見を集めるために設置することになった。懇談会では冒頭、直江延明県土木部長が「九州地方整備局が各県の計画を参考に九州地方の中長期計画を取りまとめるなど、県としてもこのような中央の動きを踏まえ、国と連携して新たな視点・潮流に対応した中長期計画づくりに取り組むこと」としてあり、計画にあたっては、学識経験者や県民有識者などからの各方面からの幅広い意見を伺いながら進めていきたい」と挨拶。



活発な意見が飛び交った懇談会＝鹿児島市のステーションホテルニューカゴシマで

続いて、運営要領の承認後、座長に松本讓鹿児島大学名誉教授を選出し、議事に入り、鹿児島県の道路整備に関する中長期計画（仮称）策定に向けての考え方についての説明、「これからの鹿児島

案）について幅広い見地から意見を伺い、P1方式を取り入れ、県民の意見、提案等を把握するために県庁ホームページへの掲載やアンケート調査を実施、骨子の策定、県幹線道路協議会において審議し、第2回鹿児島県の道を考える懇談会を開き、今年中の鹿児島県中長期道路整備計画の策定していく予定。



防ダムの概要について説明を受ける赤崎市長(右)＝鹿児島市古里町の現場で

災害未然防止呼びかけ

鹿児島市が防災点検

鹿児島市は13日、桜島側と市街地側の工事現場6カ所を対象に14年度防台風を控えたこの時期における災害危険箇所における重なチェックで未然防止を呼びかけた。赤崎義則市長を班長とする班は桜島側を視察。初めに同市古里町の第二古里川保水工の現場として実施する補修工事

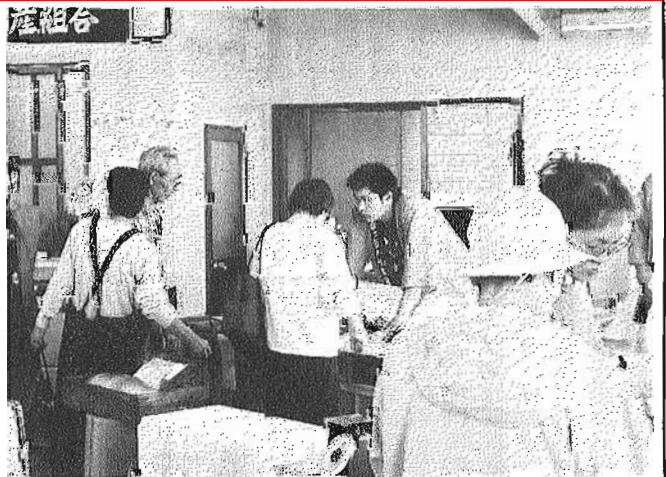
鹿児島市は13日、桜島側と市街地側の工事現場6カ所を対象に14年度防台風を控えたこの時期における災害危険箇所における重なチェックで未然防止を呼びかけた。

赤崎義則市長を班長とする班は桜島側を視察。初めに同市古里町の第二古里川保水工の現場として実施する補修工事

常連客で大賑わい

野口タタミ工業「かつちゃん市」

（株）野口タタミ工業（野口勝己社長、国分市）は12日、恒例となったかつちゃん市を開催。午前8時の開店とともに常連客が詰め掛け、正午の開店時には、ほぼ完売という盛況振りを見せた。野口社長自ら鹿児島市



安くて新鮮な魚介類に大満足の来場者＝国分市上小川の現地で

や宮崎県の市場で仕入れてきた魚介類や、生鮮野菜、花、果物などを同社敷地内のリフォーム展示場で販売する、かつちゃん市が始まったのは、昨

年4月。1年を経過した今ではすっかり定着し、地域住民も、毎月第2日曜日と決められた開催日を心待ちにしているほど。会場の一角には、七輪で新鮮な帆立貝やサザエの重焼きなどを実演試食するコーナーも設けられ、こちらも大人気。友人と誘い合って来たという準人町の主婦は「ヘリコプターの広告で知って、初めて来てみたが、安くて驚いた。次は開店と同時に来なければ」と青梅の大袋を手に笑顔を見せていた。

新製品などで大盛況

かこしま電工「びっくりり市」

かこしま電工（千場登社長、恒例の春の大展示会「第3回大感謝祭びっくりり市」が11、12日の2日間、鹿児島市宇宿の



多くの来場者で賑わったびっくりり市＝鹿児島市宇宿2丁目のスペース22で

電気具市」と合わせて、年2回の大展示会を開催する中、今回の「びっくりり市」では、商社・メーカーなど31社が協賛。洋式トイレ脱臭器「トイレのひみつ」（松下電器産業）や、うす式を採用したお茶粉末器「まるごと緑茶」（松下電工）、光熱費を格段に抑えたヒートポンプ給湯機「エコキュート」（ダイキン空調）など、新製品や一押し商品、約数千点が展示・販売され、会場内では威勢良く商談で終始賑わいを見せた。

柳田明常務は「喜んで帰って頂けることが何よりもうれしく、ありがたいですね」と笑顔で話した。なお、同社では18日に出水営業所、25日に鹿屋商工会議所、6月1日に奄美シーサイドホテルで各営業所単独の展示会を開く。

カトランホーム加世田店開設
軟弱地盤等にも対応



多くの来場者で賑わったオープニングセレモニー＝加世田市村原の現地で

コーアツ工業（下八尻鐵憲社長）は、加世田市に南薩地区第1号となるモデルハウス

田店」を開設、営業を開始した。営業開始に先立ち、10日、関係者ら約50人を招いてオープニングセレモニーを行い、記念すべき1号

店の開設を祝った。今回の出店は、同社がF.C.加盟店として販売するカトランホームを、南薩地区の住民に広く理解し、販売提供するために、南薩摩の中核でもある加世田市にモデルハウス第1号として開設したもの。同工法は、鉄筋コンクリートベタ基礎を標準とした軟弱地盤にも対応できる特長を持っており、床下には防湿シートの敷き込みにより、地面からの湿気を防ぎ、基礎と土台柱の間に特殊パッキンを敷き込むことで、土